

第 1 章

学科の歴史と伝統

第 1 節 現在の人材育成目標

本学人間科学部初等教育学科の人材育成目標は、「教育に関する専門的な知識や技能を修得し、主体性と協同性を持った逞しい実践力のある人材を育成する。」というものである。

その実現に向けて、アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーといった三つのポリシーを策定している。

第一は、アドミッション・ポリシーである。入学者を受け入れるにあたっての方針として、次の三点を挙げている。

- (1) 小学校教諭、幼稚園教諭、あるいは保育士をめざし、粘り強く問題解決にあたり、積極的に自己を表現していこうとする人。
- (2) 教職につくという高い志を持ち、周囲の人たちとの関係を大切にし、たゆまず実践と研究を積み重ねていこうとする人。
- (3) 広い視野を持ち、子ども理解の気持ちにあふれ、時代の変化に伴う初等教育の問題を主体的に考えていこうとする人。
- (4) 初等教育の実践や研究について強い関心を持ち、幅広く学んでいき、自己の能力を伸ばそうとしている人。

第二は、カリキュラム・ポリシーである。「育心育人」という本学の教育理念に基づき、教育に携わるものとしての素養（教育学系科目群、心理学系科目群）と、それらを基礎とした各領域の専門性（幼児教育学系科目群、教科教育学系

科目群)を身につけさせることを意図して、以下の四つの領域に分けてカリキュラムを編成した。2年次からは3コース(児童教育コース, 幼児教育コース, 教育心理学コース)に分かれ, より専門性を生かした教育内容を展開する。具体的には, 以下のとおりである。

(1) 教育学系科目群

- ・教育学における基本的知識を体系的に理解すると共に, 教育現場と関連づけて理解を深める。
- ・「育心育人」教育の考え方を理解し, 教育現場で適用できる力を身につける。

(2) 心理学系科目群

- ・心理学における基本的知識を体系的に理解すると共に, 学校現場を心理学的視点から把握し, 理解を深める。
- ・優しさや思いやりの心を育て人の心に働きかける力を身につける。

(3) 幼児教育学系科目群

- ・幼児教育における基本的知識を体系的に理解すると共に, 保育現場と関連づけて理解を深める。
- ・保育現場の活動においてコミュニケーション・スキルや問題解決力等を身につけ, 正しい判断力と逞しい実践力を発揮できる。

(4) 教科教育学系科目群

- ・教科教育における基本的知識を体系的に理解すると共に, 授業場面と関連づけて理解を深める。
- ・授業場面においてコミュニケーション・スキルや問題解決力等を身につけ, 正しい判断力と逞しい実践力を発揮できる。
- ・野外活動を通して共に支えあい高めあう集団としての行動を学び, チームワークの大切さやリーダーシップの意義を理解する。

第三は, ディプロマ・ポリシーである。次のような力を身につけ, 社会に巣立っていくことを期待している。

- (1) 教育学, 心理学, 幼児教育学, 教科教育学に関する専門的な知識を身につける。

- (2) 初等教育に関する課題について, 理論と実践を繋げ, 論理的に思考し, 適切に対応していく技能を身につける。

- (3) 教育に携る者としての使命感と倫理観を持ち、生涯にわたって学習していこうとする態度を身につける。
- (4) 表現力を磨きつつ、主体性と協同性を持って日々の教育活動を創造していく実践力を身につける。

以上、本学科の人材育成目標、三つのポリシーを掲げた。いずれも、ごく最近のところで策定されたものである。本学科内だけではなく、広く全学的にも議論され、最終的にこのような形となった。一人ひとりがこれらをよく理解し、何時も念頭に置き、日々歩みたいものである。